災害を先読みする 地震災害対応コース

地震災害の基礎知識を学ぶとともに、災害をイメージするトレーニングを通して、自らの防災対策を考えます。

地震による被害をゼロにすることは不可能ですが、発生する災害をイメージし、イメージした災害が起こらないように、あらかじめ状況に応じた準備や対策をとることで、地震による災害を最小化すること＝「減災」は可能です。本コースでは、「減災」の考え方や、地震災害の基礎知識を学び、災害をイメージするトレーニングによって、自らの防災対策を考えます。

＜コースカリキュラム＞

第1章　防災を自分の事として捉える ～災害から大切なものを守るのは自分～	1-1 防災の主役はだれ？ 1-2 必要なのは「災害イマジネーション力」 1-3 防災をプランニングするには
第2章　災害対策のポイント ～地震災害に備えるために～	2-1 災害のしくみを理解する 2-2 地震による被害 2-3 地震のメカニズム 2-4 地震のゆれ 2-5 地震の３つの性質 2-6 津波 2-7 地盤の影響 2-8 液状化 2-9 耐震 2-10 制震・免震 2-11 共振による被害 2-12 家具・じゅう器の転倒 2-13 家具・じゅう器の配置 2-14 凶器に変わるじゅう器・家具　高層階の室内 2-15 火災と避難場所 2-16 災害時の情報入手・発信 2-17 放射線の影響 2-18 防災対策のマトリクス
第3章　災害イマジネーション ～地震災害の対応訓練～	3-1 災害イマジネーション力を活かす 3-2 訓練　仕事中に地震に遭遇したら･･･ 3-3 訓練　プライベートで地震に遭遇したら･･･

＜本コースのねらい＞

- 地震による災害を最小化する「減災」の考え方や地震による災害の基礎知識を学び、災害をイメージするトレーニングによって、自らの防災対策を考えます。
- 災害対策の基本＝「自らが想像し、考えて備える･行動する必要性」を理解します。
- 災害時対応･防災の基礎知識を習得し、災害をイメージするトレーニングを行います。
- 災害発生時の行動や、事前の備えとして何をすべきか、自ら対策を考えます。

＜概要＞

受講対象者	ビジネスパーソン全般
監　修	●目黒公郎 東京大学 教授　生産技術研究所 都市基盤安全工学国際研究センター長
仕様	●想定学習時間：５時間 ●最短実行時間：76分 ●テスト数：1（全10問、ランダム出題） （第1回：全20問、第2回：全20問）

©JMA MANAGEMENT CENTER INC　無断複製転載を禁じます